

58484

姓名

職名

本籍

現任所

所屬部

入隊年月

官階

内務省出隊年月

昭和七年

勤務ノ概略

整頓ノ要領

備考

備考

右同

第八十三警備隊ハタシ

昭和七年一月

現役

現役

兵種 水兵

一等

昭和七年

昭和七年

昭和七年

昭和七年一月廿日横濱支

カキタタテ 昭和七年一月廿日

果才不精別隊新隊附トシ

才八十五警備隊隊員 附トシ

不明

不明



2041

至急

4554

死没者調書

部隊

第11支隊 備隊

日付

一六六一

役種現

兵科

等級

上

氏名

生年月日

昭和十八年六月

昭和十八年六月七日横須賀

左

六月二十日

勤務概要

勤務概要 大分精勵 常ニ先頭隊ヲ行キ責任ヲ負ヘリ
余重傷ヲ受ケテ一ツノ時ニ有リ人物トシテ名長
ノ有リテ記スルモノナシ人物トシ

死没(死没)年月日

昭和十九年六月四日

死没(死没)原因

新島東部島嶼ニ飛来シテ暴風ニテ死ス

死没(死没)場所

新島東部島嶼ニ飛来シテ暴風ニテ死ス

死没(死没)状況

死没(死没)状況

死没(死没)備考

死没(死没)備考

右中若人

昭和二十年十月一日

氏名	籍地	現住所	所属部隊	官等級	海軍中尉
右		右	第一正警備隊	入籍番號	

備考

(一) 本調査部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人

事部長宛通報非ズト認ムルニ付記載ス

(二) 吳鎮在籍者、持務主官、准主官、下士官兵ニ付記載ス

(三) 同村縣人、勿論他村縣出身者ニ就テモ記載ス

(四) 知得ニシテ範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス

(五) 他人ノ聞キテ承知ニシテ事項ハ各當該欄相手方ニ記載ス

(六) 送付先

吳地方復員局

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

吳地方復員局長

○

26

2045

死の場所 ソロモン群島ブーゲンビル島ブリン

死の年月日 昭和十九年八月頃

死の時の状況 糧食大に乏しく、軍用物資に乏しく、草葉の他、動物を食

上の通 承知して、みすみから、

昭和十九年七月十五日

軍人 藤田 芳雄 上曹 八名

軍人 藤田 全

軍人 藤田 全

の所属部隊 佐世保鎮守府第六特別陸戦隊

備考

一 不調書は死後者の身上、関係一切を処

理するものなり、

二 他人の口から聞いて承知した事項、其の他参考となるべき資料は、その

旨、仔細に要記入下さい。

7/26 昭和十九年八月

海軍軍人消息調査票



全地人第一六號一二一九

六月六日

海軍軍人消息調査票 第二十四號 全地地方復員人事部

資料	所轄	戦時 在	年 月 日	帰還 等級	氏名	現住所
提供者	二十六特報 (五三二船防隊)	ルマヘラ島	二六二	二曹		
等級	氏名	出身地	戦没年月日	戦没 状況		
戦死	水長		一九八九	「ルマヘラ」ニテ被爆戦死		
戦死	上曹					
戦死	二曹		?	不明		
戦死	上水		一九八九	「ルマヘラ」ニテ被爆戦死		
戦死	上曹		?	「マラリヤ」ニテ戦病死		
戦死	水長		?	?		

一、二十九番(四二十六特報)司令 中佐、五三二船防隊隊長
 将大尉()も同時帰還した。

備考
 一、二十九號(向二十六特報)司令
 中佐、五三二船防隊隊長
 大尉()も同時帰還した。

高送付先 福井一地方復員人事部

(終)

紙 用 箋 附

昭和 昭和 昭和

文發第一。號

昭和十一年三月二十日

滋賀縣甲賀郡甲南町長

舞鶴地方復員局人事部長 殿

戦死者、件

照會

本町出身、左記、者戦死と旨復員と戦友と承知とを以テ
事實照會を遺族より申出有之候間御調査、上何令、御回
答相成度及御依頼候也

記

本義

一 昭和十七年五月一日海軍志願兵トシ舞鶴海兵團入團

一 昭和十八年二月二十日吳第七特別陸戦隊、編成中昭和十八年四月一日

ソロモン群島方面ニ出動、ブーゲンビル島、ブイ、及「バラバラ島」ニ上陸

町 村 公 用 紙

戰國、參加後子ヨイセ島。上陸勦勢中罷病。昭和十九年

八月三日、用島。於、戰病死。

一現認者

生身

花野子

昭和十九年

140-10

戦死当特・實情

昭和十八年八月廿日、呉海軍兵隊艦隊、
海軍軍艦として、呉集港、南方エーブリテン島
ラバウルに到着せる。

昭和十八年八月廿九日、壕掘り作業中、オーストラリア
空軍機三機来襲、爆弾を投下し、直撃を蒙り、
作業中の壕内に生火となり、救出後二時間経
て死亡す。

葬儀に用いた復員者の住所氏名

吳受
鹿

正德軍令屬死因調查資料

（鼎湖方輿彙編）

死後者如左：所感、身分、
氏名、或生年月日

二六建正朔(五)

1934 吳益親 舒石 蘇修

当所へ送られてゐる死没の場
 所及び年月日並びに死因とな
 る病名

昭和九年三月東京印度雜誌方面に於て嚴病死
(病名等詳細不明、死に臨む所は三才と認むるなり)

所坐及臥起時年月日辰時

癸卯年九月廿九日 照得本年九月廿九日
 癸卯年九月廿九日 照得本年九月廿九日

又銀部位又做網名

體金條三條彈一匣片四發

鐵の命令。指揮。監督
によつてどんな作樂を

力之平祇行堪還設作案中

傷の死 合
 受傷時の状況、事故の
 原因、本人の過失、
 被害者の過失、この因
 果関係を認め、
 賠償に説明して下す

カキ子孫行堤遺徳行事中

昭和三十年九月一日

民住
各房

[illegible]

(行方不明者)

本籍地	現住所	所屬部隊	入團月日	官等級	姓名	生年月日	內地落泊	戰地到着年月日	勤務概要	行方不明	及當時狀況
	右同シ	通達學校卒業後第三工機營隊員今部所屬	昭和六年八月一日	役種		昭和二年	昭和十七年七月	昭和十七年八月初旬	溫厚、正義、人物、よく		
		昭和九年八月八日就任		六種	電報所又	入籍前野					

216

發病(受傷)年月日
 病名(受傷部位)
 發病(受傷)原因
 元服年月日
 昭和二年四月八日

右申 告入

昭和二年四月八日

本籍地	右同	官等級	上等兵
所屬部隊	第一七警備隊	電報符	又
氏名	[Redacted]	入籍番号	[Redacted]
本籍地	[Redacted]	官等級	一等兵
所屬部隊	第一七警備隊	電報符	又
氏名	[Redacted]	入籍番号	[Redacted]

46-10

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

昭和十九年十月二十四日

18-12077

海軍軍人軍屬消息調査 (記者官職氏名 [redacted])

項目	氏名	官職	住所	備考
知得主と海軍 軍人軍屬 消息	水	水	無	昭和七年三月十日戦死
戦死と付す (不明と認められ 海軍行記簿上)	水	水	無	昭和七年三月十日戦死

清 1132

死 殛 者 調 査 書

本籍地

現住所

所属部隊

入国年月日

等 級

内地派遣

外地到着

概 要

発病又は受傷

病名又は原因

発病又は受傷

死亡年月日

死亡場所

合

右

佐官補 隊 隊 隊

二機重

三〇〇〇日号

右機重一ヶ月の

正八本快砲隊編入後

一九九一四現在は元

タリヤノ病及腫

一九九一四サマ

一九一〇・二九

死亡場所

役種 兵

兵種 機

入籍

光緒二十三年六月十一日

入籍番號	再級一覽	代名
本籍地		
現任所		
所屬部隊	第五師	陸軍司令部

備考

一 本調書は死没者の身上關係一切を處理するものであるから
慎重に且詳細に記入し下す。
二 他人の聞知承知した事項は其の旨末尾の餘頁に記
入し下す。

長崎縣

[illegible]

右の通り承知してゐますから申告致します

昭和
年
月
日

申

入籍番頭

異級

一 卷

氏名

毒

本籍地

者

現住所

所屬新隊

佐官係第特別陸戰隊大隊指揮小隊